

新年あけまして おめでとうございます 本年もどうぞよろしく願いいたします



令和4年がスタートしました。

平荘っ子のみなさん、どんな冬休みを過ごしたでしょうか。風邪などひかずに元気に過ごせたでしょうか。冬休みは、大晦日、お正月等日本の伝統文化や伝統行事が盛り沢山でしたね。健康に留意しながら、家族をはじめ多くの方々とゆったりと時間を過ごし、心も豊かになったことと思います。

さあ、今日からは、いよいよ令和3年度の締めくくりの学期がスタートします。生活面も学習面も、次の学年に向けてしっかりと力をつけていきましょう。

保護者の皆様、そして地域の皆様、昨年引き続き、今年も本校教育にご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【日本の年末年始の伝統行事です】

- 12月 8日…事納め（事始め）
- 12月13日…正月事始め・すす払いの日
～ …お正月飾り（門松・しめ縄・鏡餅）
- 12月31日…大晦日と年越しそば
…除夜の鐘
- 1月 1日…お正月
～ …おせち料理、祝い箸、お雑煮
- 1月 3日…かるた始め
- 1月 7日…人日の節句、七草がゆ
- 1月11日（15日）…鏡開き
- 1月15日…小正月

【お正月と年神 としがみ （歳神）さま】

私たちの間でお正月は家族で新しい年を祝う行事として広く認識されていますが、元来お正月は「年神さま」を自宅にお迎えする行事なのです。

「年神さま」はお正月の神様で「歳徳人（としとくじん）」「正月様」と呼ばれており、「トシ＝稔（みのり）」を意味しています。この「年（歳）」や「稔（みのり）」を司る神様を家族全員でお迎えして、新年を歓迎、五穀豊穣に感謝してお祝いするのがお正月です。

【大晦日】

「晦日」とは、毎月の末日のことを言います。その中で、1年の終わりの日のことを「大晦日」と呼び、それが12月31日にあたります。大晦日は新しい年に移る年越しの大切な日です。

【年越しそばの由来】

大晦日の夜に食べるのが年越しそばです。この年越しそばは、江戸時代に広まりました。蕎麦は細く長いので、長寿を祈って食べるようになったと言われています。また、薬味のネギにも「ねぎらう」や「祈ぐ（ねぐ）＝祈る」という意味があるそうです。

【おせち料理】

おせち料理は漢字で「御節料理」と書きます。「御節」とは、元旦や五節句（1月7日（人日）、3月3日（上巳）、5月5日（端午）、7月7日（七夕）、9月9日（重陽））の節目のことです。昔は、作物の収穫を季節ごとに神様に感謝し、生活に節目をつけていました。そして、収穫物を料理して大漁や豊作を願い、自然の恵みに感謝して、神様にお供えし食べたものを「御節句（おせちく）」と呼びました。本来はお正月のみに食べる料理ではありませんでしたが、1年で1番大切な節目のお正月に振る舞われるようになった料理が「おせち料理」の由来です。

【おせち料理】

- 【黒豆】まめに健康に過ごせますように。
- 【ごぼう】家庭や家業が地域に根付きますように。
- 【数の子】子孫繁栄でありますように。
- 【田作り】五穀豊穣でありますように。
- 【紅白かまぼこ】赤は魔除け、白は神聖さを表す。
- 【鯛】「めでたい」赤い色が祝いごとにふさわしい。
- 【海老】長いひげと曲がった腰が長寿の象徴。長生きできますように。
- 【蓮根】将来の見通しが効きますように。

職員による手作りのお正月リースです。



『一年の計は元旦にあり』

『一年の計は元旦にあり』ということわざがあります。これは、一年のことは年の初めの元旦に計画を立てて行うべきである。物事は初めが大事、しかもしっかりした計画のもと着実にを行うことが大事だということです。

それは、年頭に今年は何をするか、目標を定め決意を新たにすることが大切ということで、根底には、年の初めの過ごし方がその一年を左右するという思いがあるということです。

また、『一日の計は朝にあり』というよく似たことわざもあります。一日の計画は朝のうちに立てるのがよいということで、物事の計画は早いうちに立てるべきだということです。

そして、『一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり』と続けていうこともあるそうです。

いずれにしても、初めが肝心ということですね。

平荘っ子のみなさん、年の初めにあたり、今年の目標を立てて、常に目標を意識しながら有意義な一年にしていきましょう。

7月21日の学校だより『いなほ』NO. 17①で、吉田松陰の「夢なき者に理想なし・・・」を紹介しました。夢・理想・目標を持つことは、とても大切なことです。そして、夢や目標を実現するために、具体的な計画を立て実行することが大事です。

『言うは易く行^いうは難^{やす}し』ですが、『継続^{おこな}は力^{かた}なり』です。ぜひ目標達成に向けて実行し続けましょう。

港坪（ぎゃんぴん）小学校との国際交流 (5・6年生)

台湾の港坪（ぎゃんぴん）小学校とは、今年度で7年目の交流となっています。9月に本校児童とぎゃんぴん小学校の児童とのペアづくりを行い、10月には手紙交換を行いました。

12月には、meetでビデオ会議も行っていきます。その後、今年度2回目の手紙交換を行い、現在に至っています。今回は、本校の児童（児童会）が、「自分たちが交流している港坪（ぎゃんぴん）小学校にも『はるかひまわり』を広げていきたい」という思いを持ち、港坪（ぎゃんぴん）小学校の友達に『はるかひまわり』の種を送っています。

《港坪（ぎゃんぴん）小学校から届いた写真です》



「命の尊さ」を伝えていく『はるかひまわり』（自分たちが育てて収穫した『はるかひまわり』の種）を、本校から、台湾の港坪（ぎゃんぴん）小学校の友達に届けたいという子どもたちの思いがうれしいです。



Betty (馨云)

I shared the story of Haruka's sunflower. My students are so touched. We will plant the seeds to spread the hope.

「はるかひまわり」のお話をしたところ、生徒達はみんな感動していました。希望の輪を広げるためにひまわりの種を植えますね。

《お知らせ》音楽担当の大門未央先生が、育児休暇を終えて1月から復帰いたしました。子どもたちの音楽指導にあたります。どうぞよろしくお願いいたします。